

=====

◇植物ストレス科学研究ネットワークメールマガジン vol.190◇

2026年5月8日号(第190号)

=====

-----◇◆ INDEX ◆◇-----

1. 岡山大学資源植物科学研究所一般公開のお知らせ
2. 大学院進学説明会（オンライン開催）のお知らせ
3. 最近の研究成果について
4. 投稿のお願い
5. 編集後記

-----◆◇◆◇-----

1. 岡山大学資源植物科学研究所一般公開のお知らせ

岡山大学資源植物科学研究所では、明日5月9日（土）に研究所一般公開を開催します。

今年のテーマは

「きて、みて、発見！！植物っておもしろい！」
です。

年代を問わず、幅広い世代の方に楽しんでいただけるよう、所員一同準備を進めております。植物の研究を身近に感じていただける機会ですので、ぜひお越しください。

当日は、大学院進学説明会も同時開催します。

研究内容や研究室の紹介に加え、進学後の学生生活や研究環境についても説明する予定です。進学を検討中の方はぜひお気軽にご参加ください。

日時：2026年5月9日（土）10:00～15:00

場所：岡山大学資源植物科学研究所

（倉敷市中央2-20-1／JR倉敷駅から徒歩15分・倉敷市芸文館前）

参加費は無料です。駐車場、休憩所を用意しています（所内禁煙）。

詳細は以下のウェブページをご覧ください。

https://www.rib.okayama-u.ac.jp/information/open_to_the_public2026/

2. 大学院進学説明会（オンライン開催）のお知らせ

植物研では大学院進学を検討されている皆様を対象に、オンライン大学院説明会を開催します。受験を考えている方も迷っている方も気軽にご参加ください。

参加を希望される方には事前申し込みをお願いしております。
申し込み締め切りは、5月11日（月）です。

【日時】

2026年5月18日（月） 13:00～17:00頃

2026年5月20日（水） 13:00～17:00頃

詳細および申し込みは以下のウェブサイトをご確認ください。

https://www.rib.okayama-u.ac.jp/grdsh/Daigakuin_J/setsumeikai.html

3. 最近の研究成果について

Kondo, H., Nanaji, M., Sugahara, H., Fujita, M., Andika, I.B., Suzuki, N., Fumihiko, F.

Mycoviruses diversity in the black koji mold, *Aspergillus luchuensis* (section *Nigri*) isolated from liquor-production environments in Japan.

Virus research, 367:199724 (2026)

Doi.org/10.1016/j.virusres.2026.199724

Ogawa, Y., Mahapatra, G.P., Milrad, Y., Schimpf, M., Kurisu, G., Hippler, M., Schuller, J.M.

Cryo-EM structure of *Chlamydomonas reinhardtii* Photosystem I complexed with cytochrome c(6).

Nature communications, 17(1):10.1038/s41467-026-70944-9 (2026)

Doi.org/10.1038/s41467-026-70944-9

Huang, S., Hori, K., Yamaji, N., Yoshioka, Y., Ning, M., Nagaya, Y., Miyaji, T., Mitani-Ueno, N., Inoue, S., Kim, J., Kashino, M., Ma, J.F.

A magnesium efflux transporter required for seed

development and eating quality in rice.

Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America, 123(17):e2536813123 (2026)

Doi.org/10.1073/pnas.2536813123

Ishizaki, T., Hashida, Y., Hirabayashi, H., Sasaki, K., Tokunaga, H., Simon-Ada, E.V.M., Wakayama, M., Takai, T., Saito, H., Nagano, A.J., Sakakibara, H., Kojima, M., Takebayashi, Y., Kim, S., Matsushima, R., Thomson, M.J., Sugimoto, K., Hibara, K., Ishimaru, T.

Rice EMF3 Alleles Adjust Flower Opening Time to Enhance the Seed Setting Rate Under High Temperature Stress.

Plant biotechnology journal, 10.1111/pbi.70653 (2026)

Doi.org/10.1111/pbi.70653

Wu, W., Jiang, C., Gao, G., Mitani-Ueno, N., Guo, Y., Kan, J., Xiong, Y., Mascher, M., Ni, Z., Ma, J.F., Wang, K., Yang, P.

Spatial Regulation of Silicon Accumulation in Peduncle Confers Sheathed Spike in Barley.

Plant biotechnology journal, 10.1111/pbi.70666 (2026)

Doi.org/10.1111/pbi.70666

Mega, R., Hirata, S., Yamashita, K., Takase, H., Umezawa, T., Watanabe, Y., Kim, J., Kosaka, T., Nieda, A., Tsujimoto, H.

A Water-Saving Drought Survival Phenotype in a Wheat TILLING Mutant Involves Survival-Biased Metabolic and Phosphorylation Reprogramming.

Plant, cell & environment, 10.1111/pce.70546 (2026)

Doi.org/10.1111/pce.70546

Li, H., Jin, H., Ning, M., Deng, F., Chen, W., Yang, O., Cheng, J., Lian, X., Shao, L., Zhang, S., Yamaji, N., Hu, F., Ma, J.F., Lei, G.J.

Functional characterization of transporter genes in rice

node at single-cell resolution through multi-omics technologies.

Genome biology, 10.1186/s13059-026-04046-6 (2026)

Doi.org/10.1186/s13059-026-04046-6

4. 投稿のお願い

本メールマガジンや Web サイトでは、植物ストレス科学の研究成果や研究に関する情報の共有を目指しています。

(<https://www.rib.okayama-u.ac.jp/pssnet/>)

PSSNet メンバーの皆様の最新の論文、関連集会やセミナーの案内、人材募集などの共有可能な情報の投稿をお待ちしております。

ご希望の方は、pssnet-admin@okayama-u.ac.jp 宛に情報をお送りください。

また、メーリングリストへの情報提供も随時受け付けております。

セミナーや講演会の開催など、お急ぎの情報は

pssnetml@okayama-u.ac.jp 宛てにお送り下さい。

* お送り頂く際には、PSSNet に登録しているメールアドレスからお願い致します。

5. 編集後記

ゴールデンウィークは、どのように過ごされたでしょうか。旅行に出かけられた方もいれば、近場でゆっくりと時間を過ごされた方も多かったのではないかと思います。今年のGWは、連休は取りやすいものの、物価高や円安の影響もあり、距離や費用を意識した過ごし方が広がっているようです。

そうした中で気になっているのが、飛行機運賃、とりわけ燃油サーチャージの値上げです。コロナ禍が落ち着き、ようやく自由に移動できるようになった矢先、国際情勢の影響を受けて、5月から国際線の燃油サーチャージが引き上げられることが発表されました。加えて、国際線だけでなく国内線でも燃油サーチャージの導入が検討されているとのこと。

私自身、7月に国際学会でイギリスを訪れる予定があります。航空券は既に手配できたため、今回の値上げはぎりぎり回避できた形で

すが、来年以降も同じように海外へ出られるのかと考えると、少し不安を覚えるのも正直なところ。一方で、久しぶりに海外の研究者の方々と現地で再会し、直接議論できることを今から楽しみにしています。国際学会で研究成果を発表し、異なる背景を持つ研究者と意見を交わすことは、研究者にとって欠かせない経験です。それは学生の皆さんにとっても同様で、研究の内容だけでなく、研究が世界の中でどのように受け止められるのかを体感する貴重な機会でもあります。オンラインでの交流が一般化した今だからこそ、同じ場に集い、顔を合わせて話すことで生まれる理解やつながりの大切さを、改めて感じています。

さて、冒頭でもお知らせしましたが、明日は研究所が一年で最も賑わう研究所一般公開の開催日です。お近くの方は、ぜひご家族で足を運んでいただければと思います。

「植物ストレス科学研究ネットワークメールマガジン」

■発行日 2026年5月8日

■発行元 岡山大学資源植物科学研究所

植物ストレス科学研究ネットワーク (PSSNet) 委員会

■WEB サイト <https://www.rib.okayama-u.ac.jp/pssnet/>

メールマガジン登録変更・解除の手続きは

<https://www.rib.okayama-u.ac.jp/pssnet/Registermember.htm>

をお願いします。

(このメールは岡山大学職員が配信しています)

pssnetml mailing list

pssnetml@okayama-u.ac.jp